



白石市非常勤職員募集

市では、男女共同参画相談員およびファミリー・サポート・センターアドバイザーを募集します。

●職種および募集人員

- ①男女共同参画相談員 1名
- ②ファミリー・サポート・センターアドバイザー 2名

●応募資格

- ・①②共通 当市に住所を有する方
- ・①のみ 人権に対する豊かな知識を持ち、男女共同参画相談員としてふさわしい人格と熱意を有する方
- ※カウンセラーの有資格者が望ましい。
- ・②のみ 子育てに関する深い知識と

豊かな経験を持ち、アドバイザーとしてふさわしい人格と熱意を有する方

●選考

- ・選考日時 2月25日(日)9:00~12:00
- ・選考方法 作文、面接

●申し込み方法 子ども家庭課に用意している採用試験申込書に所要事項を記入の上、期間内に提出してください。

●申込受付期間・時間

2月1日(木)~2月16日(金)8:30~17:00
※土・日・祝日を除きます。

●申し込み・問い合わせ先

子ども家庭課総務係 ☎22-1363

旧刈田総合病院跡地広場名称募集

市では、旧刈田総合病院跡地の用地を取得し、市民の皆様にご活用いただける広場として活用されるよう「遊歩道」や「駐車場(兼イベント広場)」を整備しました。

つきましては、より多くの方にご利用いただけるよう、①「広場」と②「遊歩道」の名称を募集します。たくさんのご応募をお待ちしています。

●応募方法 ハガキに名称(1人2点以内)と住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業または学校名・学年を記入し、郵送してください。

●応募締め切り日

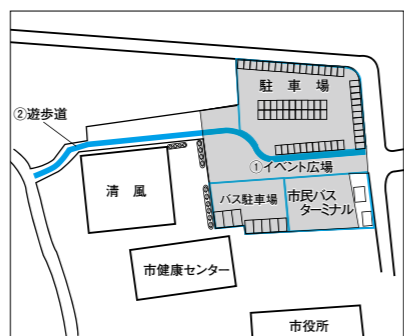
2月19日(月) ※必着

●応募・問い合わせ先

〒989-0292 白石市大手町1-1
白石市役所財政課管財係「名称募集」☎22-1332



▲現況写真と整備区域図



▲整備区域平面図

紙草履作り参加者募集

すぎのこ母親クラブでは、紙草履作りに参加する方を募集しています。作り方を覚えれば、余った布を利用してオリジナル草履も作れるようになります。ぜひご参加ください。

●日時 2月17日(土)9:30~12:00

●場所 第一児童館

●材料費 400円

※参加人数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

●申し込み・問い合わせ先

すぎのこ母親クラブ
(事務局:第一児童館内)

☎25-7070 ☎25-7284

白石キャピタルオペレーション 基金助成対象事業募集

●対象事業 4月1日から9月30日までに実施予定の次の各号に該当するイベント事業。ただし、②③は対外交流や市全体の交流を主としたものに限りません。

①歴史文化研究伝承事業

②青少年交流事業

③スポーツ交流事業

④情報化推進事業

⑤そのほか、趣旨に沿う事業

●申請資格 原則として市内に居住し、文化・スポーツ・情報化推進活動を行っている個人や団体

●助成金額

①年間助成費の範囲内で個別に決定します。ただし、1件当たりの助成額は、事業に要した費用の2分の1以内を限度額とします。

②市からの補助金などを受けた事業は該当しません。

●募集期間 2月1日(木)~28日(水)

●申請・問い合わせ先

(財)白石市文化体育振興財団事務局
(市庁舎2階生涯学習課内) ☎22-1327
※応募用紙は事務局に備え付けています。

楽しい子育て応援します！ “みにほっぷひろば”参加者募集

参加無料

3歳までのお子さんを養育しているお父さんやお母さん、お孫さんのお世話をしているおじいちゃん、おばあちゃんなど、遊びを通してお友達になりませんか？ 子育ての悩みは育児段階に応じて出てくるものです。気軽にお越しください。

●対象 市内在住の0~3歳児とその家族の方

●日時 2月28日、3月14日

(いずれも水曜日) 10:00~11:30

●場所 中央公民館 講座室(2階)

●内容 子育てセミナーや手遊び、おしゃべりタイムなど

●申し込み・問い合わせ先

社会教育課(中央公民館内)

☎22-1343

市内の各小学校では、学習指導要領の狙いを受け「子どもたちの生きる力をはぐくむ」さまざまな教育活動を行い、特色ある学校づくりを進めています。「教育のひろば」では、家庭・学校・地域がお互いを理解するとともに協力し合える姿を目指し、教育活動の紹介を行っています。今月は白川小学校です。

白石市立白川小学校

☎27-2103 ☎27-2104 URL: http://www.shirakawa-e.myswan.ne.jp/ Eメール: chief@shirakawa-e.myswan.ne.jp

教育目標

生きる力を身に付けた、心豊かで自ら学び、心身ともに健康な児童を育成する。

めざす子ども像

- 「お」思いやりのある子ども
- 「か」考える子ども
- 「た」たくましい子ども

目指す学校像

- 子どもが喜んで通いたい学校
- 親が安心して通わせたい学校
- 職員が協力し高め合える学校

特色ある教育活動

「生きる力」をはぐくむ、次の3つの柱に基づいた教育活動に取り組んでいます。

①続ける力(伝統を守る活動)

今回で30回目を迎えた「動くジャンボカルタ取り」大会を行っています。読み札を考えたり、下絵を描いてみんなで色塗りしたり、その中から良い作品を選び金賞札とするなど、計画から実行まで縦割りで自主的な活動を展開しています。応援にも力を入れ、真冬の寒さの中で元気いっぱい活動しています。



▲カルタを背負う係の皆さん。うまく動けるかな？

②表現する力(主体性を大事にする表現活動)

児童が主体的に創り上げ、一人ひとりがせりふや動きを工夫し表現力を高める「学習発表会」を行っています。子どもたちは発表会当日に向けてハンドベルや劇、合唱・合奏、太鼓、踊りなどの練習を一生懸命積み重ね、リハーサルでは不十分だったところも当日は見事に成功させます。子どもたちの持つ力には驚かされるばかりです。



▲役になりきった見事な演技

また、本校では「自分の思いや考えを適切に伝え合う児童の育成」を目指して、話し方や聞き方、書き方のスキル定着に全学年で取り組んでいます。

③かかわる力(人間関係を培う縦割活動、地域に根ざした取り組み、「生の」「直の」体験学習実施)

全学年が4つの色別グループに分かれて各種目や応援で勝敗を競い合う「4色対抗運動会」を行っています。本校の運動会は単に演技するだけでなく、児童会(各委員会)が中心となってテーマを決めたり、開・閉会式をはじめ演技中の進行をしたり、得点や放送、体操、準備などを担当します。6年生は各チームのリーダーとして下級生の世話をしたり、応援の替え歌や振りを考えたり、色別対抗リレーの順番などの作戦を立てたりします。このような縦割りに活動には、本校が目指す児童像である「お」「か」「た」になるための要素がたくさん詰まっています。



▲4色対抗運動会で選手宣誓する各チーム主将

また、4・5年生は、毎年2泊3日で蔵王自然の家を中心に「野外活動」を行っています。焼き物やこけしの絵付け、酪農体験、釣りなどの自主活動や登山、ハイキングなどを行います。5年生は、昨年の経験を生かしながら4年生の面倒をよく見てくれます。学校内外のさまざまな行事に参加して学校以外のいろいろな人と接したり、自分の知らない世界を経験したりすることで、あいさつや交流を通した「かかわる力」を高め、心を豊かにすることができます。



▲酪農体験。牛の世話ってなかなか大変!

「ふ・か・た」の修行
三つの力を身に付けさせるに当たって、子どもたちには「どきか」の実行を望んでいます。「どき」は堂々と、「き」はきびきびと、「そ」は「か」はかっこよくの頭文字です。「ど」は、やはり練習を積み重ね、自信と余裕を持たないと簡単にできません。「どき」は一人だけ努力してもだめです。成績だけが良くてだめです。日ごろからの協力や協調性が大切で、最後の「か」は、自分自身では判断が難しいことですが、お互いに話し合ったり、自分を振り返ったりするところから、より良い記録の更新を目指したり、頑張ってきた自分をより良く表現しようとするものだと思います。この「どきか」の3つがそろって、演技や競技をのこの本人はもちろんなこと、周りも応援している人々にもすがすがしさや感動を与えるものだと思います。例えば、夏の甲子園大会で優勝した早稲田実業高校の齋藤投手。一人で投げ通し、しかもおどろき、会見の時の片付けなどを見ても、実に「どきか」を実行している人のように思います。ご家族や地域の皆様におかれましては、本校児童への励みやご協力をよりよくお願いします。学校だより9月号より抜粋